



# 高浜小だより

発行日  
令和4年3月18日  
高浜町立高浜小学校  
—卒業記念特集号—



## 卒業おめでとうございます！

6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。卒業に際して、一言お祝いの言葉を贈ります。



### ■人に感謝する気持ちを忘れないで

ここまで大きくなったのは決して自分一人の力ではありません。温かく見守り育ててくださった人がいたからです。ご家族のみなさん、そして周りの人に感謝する気持ちを持てる人になってください。



### ■人のために、汗と涙を流せる人に

中学校では多くの人とのかかわりの中で、時には人と自分を比べることがあるかもしれません。むしろそのことの連続かもしれません。でも、みなさんと同じ人間はただ一人としていません。みなさん一人ひとりが、かけがえのない存在です。どうか、人に勝つことよりも、自分に負けない人間（克己）を目指してくだ

さい。そして、自分のためにだけではなく、人のために、汗と涙を流せる人になってほしいと思います。そうすればきっと、本当の「やさしさ」を身につけ、人を思いやることのすばらしさを確信できると思います。



### ■実り多き中学校生活を送るために

今から進む中学校は、体が急に成長し、心も「ひとり立ち」をしようとして、不安になったり、悩んだりする時期です。実り多き中学校生活を期待して、次の2つのことをお願いします。

1つ目は、甘えを捨て、「ひとり立ちできる心」をしっかりと鍛えてほしいということです。中学校の3年間は、心や体を厳しく鍛える大事なときです。そんな時、苦しいからといって、逃げ出した





り、人のせいにしてたりして、いらいらを人にぶついたりするようでは、「ひとり立ちの心」は育ちません。「ひとり立ちの心」は自分を鍛える努力の中で育つものです。みなさんが小学校で培ったその強い心で、困難に立ち向かい苦しみを乗り越えてほしいと思います。



2つ目は、「思いやりの心」を大きく育ててほしいということです。「思いやり」は、お互いの心に希望を与え、心を豊かにし、支え合い励まし合える心の友をつくるものです。

この「思いやりの心」を育てるためには、読書に励むなどして、人としての感じ方や考え方を学ばなくてはなりません。また、日頃の生活の中で、友だちと助け合ったり、協力したりして、共に喜び、共に悲しむ体験を重ねていくことも大切です。



### ■その日のために

みなさんがこの6年間がんばってきたことは、今、一人ひとりの中で大きな自



信になっていることと思います。今日まで培ってきた自信は、みなさんにとって大切な「心の宝物」です。

これからは自分のことを自分で判断しなくてはいけない場面が増えてくると思いますが、人生・将来はまだおぼろげで、自分がどこへ向かって歩もうとしているのか分からない人もいることと思います。でも、一日一日の連続、積み重ねが、やがて長い年月になります。そして、いつの日か本当にしたいことや仕事を見つける時がきます。

しかし、それが突然見つかるわけではありません。自分を大切にしていくなかで「夢」は見つかっていくものです。一日一日を精一杯生きる心が、自分を大切にすることにつながります。自分を大切にすること、その意気込みがあることが、自分の「夢」を見つけるきっかけになります。一人ひとりが「その日のために」すばらしい中学校生活を送ってください。42名の卒業生のみなさんに、心よりエールを送ります。

